



「人生100年時代」や「Society 5.0」の到来を見据えながら、日本を誰にでもチャンスがあふれる国へと変えていくため、教育再生、科学技術イノベーション、スポーツ・文化の振興により、「**人づくり革命**」を断行し、「**生産性革命**」を実現する。

文教関係予算（案）のポイント 4兆2,348億円（2,093億円増）

※「臨時・特別の措置」として1,974億円を計上

教育政策推進のための基盤の整備

- ◆ **新学習指導要領の円滑な実施と学校における働き方改革のための指導運営体制を構築し、「チームとしての学校」を実現**
 - 義務教育費国庫負担金（教職員定数の改善増：1,456人） 1兆5,200億円（△27億円）
 - 専門スタッフ・外部人材の拡充 135億円（15億円増）
- ◆ **大学等の基盤的経費を充実しつつ、アウトカム指標も含めた客観的指標を活用したメリハリある配分により教育研究の質の向上を促進するとともに、高専の高度化・国際化を推進**
 - 国立大学改革の推進 1兆1,016億円（5億円増）
 - 私立大学等の改革の推進（経常費補助） 4,190億円（15億円増）
 - 国立高等専門学校等の高度化・国際化 626億円（1億円増）
- ◆ **児童生徒等の安全と健康を守るため、学校施設の耐震化や、非構造部材の耐震対策、教育研究環境の整備等を推進**
 - 公立学校施設整備 1,608億円（926億円増）
【2018年度第1次補正予算額：985億円】
【2018年度第2次補正予算額案：372億円】
 - 国立大学等施設整備 1,155億円（779億円増）
【2018年度第1次補正予算額：36億円】
【2018年度第2次補正予算額案：108億円】
 - 私立学校施設整備 195億円（93億円増）
【2018年度第1次補正予算額：26億円】
【2018年度第2次補正予算額案：108億円】
 - 認定こども園施設整備 34億円（12億円増）
【2018年度第1次補正予算額：1億円】
【2018年度第2次補正予算額案：107億円】

	前年度	年度額	2019年度	比較	増減	比較	増率
文部科学関係予算	5兆2,938億円	※1	5兆5,287億円	※2	2,349億円	△	4.4%増

※1 幼児教育無償化等に伴う予算組替後の数字 ※2 「臨時・特別の措置」として2,084億円を計上

夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の育成

- ◆ **地域と学校の連携・協働を推進し地域力を強化するとともに、地域全体で学校安全等を推進**
 - 地域と学校の連携協働の推進及び学校安全等の推進 72億円（2億円増）
- ◆ **英語教育やプログラミング教育、道徳教育など、新しい時代に求められる資質・能力を育成するための支援を充実**
 - 情報教育の充実 7億円（0.2億円増）
 - 道徳教育の抜本的改善・充実 42億円（7億円増）
- ◆ **スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充やSNS等を活用した相談への支援など、いじめ・不登校対応等を推進**
 - スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充 65億円（4億円増）
 - SNS等を活用した相談事業 2億円（1.6億円増）
- ◆ **変化の激しい時代において、子供たちが新たな価値を創造する力を育成するため、高大接続改革を推進**
 - 「大学入学共通テスト」準備事業 21億円（7億円増）

社会の持続的な発展をけん引するための多様な力の育成

- ◆ **グローバル社会における児童生徒の教育機会を確保・充実**
 - 在外教育施設の教育機能の強化 176億円（△3億円）
 - アジア高校生架け橋プロジェクト 4億円（2億円増）
- ◆ **卓越した博士人材を養成するためのプログラムを拡充**
 - 卓越大学院プログラム 74億円（18億円増）



生涯学び、活躍できる環境の整備

- ◆ **人生100年時代を見据えて、リカレント教育等社会人が学び直す機会を拡充**
 - リカレント教育等社会人の学び直しの総合的な充実 93億円（5億円増）
- ◆ **就学前から卒業後まで、特別支援教育の生涯学習化を推進**
 - 学校卒業後における障害者の学びの支援 1億円（前年同）
 - 切れ目ない支援体制構築に向けた特別支援教育の充実 26億円（2億円増）

誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットの構築

- ◆ **幼児教育無償化、高校生等への修学支援、大学等奨学金事業の充実など、各教育段階の負担軽減により学びのセーフティネットを構築**
 - 幼児教育無償化の実施 701億円（418億円増）
 - 高校生等への修学支援 3,873億円（32億円増）
 - 大学等奨学金事業の充実 1,272億円（111億円増）
- ◆ **外国人受入れ拡大に対応した日本語教育・外国人児童生徒等への教育を充実**
 - 生活者としての外国人に対する日本語教育の充実 8億円（6億円増）
 - 外国人児童生徒等への教育の充実 5億円（3億円増）

Society 5.0に向けた人材育成

- ◆ **公正に個別最適化された学びの実現や、文理分断からの脱却など、Society 5.0に向けた人材を育成**
 - 新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業 3億円（新規）
 - WVL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業 1億円（新規）
 - 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 3億円（新規）
 - Society 5.0に対応した高度技術人材育成事業 13億円（2億円増）
 - 大学の数理及びデータサイエンス教育に係る教育強化 9億円（3億円増）

スポーツ関係予算（案）のポイント 350億円（10億円増）

- ◆ **競技力向上事業の充実や、ナショナルトレーニングセンターの拡充整備など、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2019年ラグビーW杯等に向けた準備の推進**
 - 競技力向上事業 100億円（4億円増）
 - ナショナルトレーニングセンターの拡充整備 25億円（△11億円）
【2018年度第2次補正予算額案：60億円】
 - スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム 12億円（前年同）
 - アンチ・ドーピング体制の整備・強化 3億円（0.1億円増）
- ◆ **大学スポーツの振興や、スポーツの成長産業化、障害者スポーツの振興、スポーツ・インテグリティの体制整備など、スポーツ施策を総合的に推進**
 - 大学スポーツの振興（UNIVASの支援等） 1.6億円（0.1億円増）
 - スポーツ産業の成長促進事業 2億円（0.2億円増）
 - 障害者スポーツ推進プロジェクト 0.6億円（0.1億円増）
 - スポーツ・インテグリティの体制整備 0.4億円（0.1億円増）

文化芸術関係予算（案）のポイント 1,167億円（85億円増）

※国際観光旅客税財源を充当する事業を含む 【2018年度第2次補正予算額案：60億円】

- ◆ **魅力ある文化資源コンテンツの創出・展開や、文化資源を活用した観光インバウンドのための拠点形成など、文化資源の「磨き上げ」による好循環の創出**
 - 「日本博」を契機とした文化資源による観光インバウンドの拡充 35億円（新規）
 - Living History(生きた歴史体験プログラム)事業 35億円（新規）
 - 文化財多言語解説整備事業 10億円（5億円増）
- ◆ **文化芸術立国の実現に向けて、文化芸術創造活動への効果的な支援や、新たな時代に対応した文化芸術人材の育成等を推進**
 - 舞台芸術創造活動活性化事業 33億円（前年同）
 - 日本映画の創造・振興プラン 12億円（1億円増）
 - 文化芸術による創造性豊かな子供の育成 66億円（0.4億円増）
- ◆ **適切な周期による修理や防犯・防災対策、文化財を支える技の伝承基盤強化、日本遺産など地域の文化財の総合的な活用」に資する取組を推進し、文化財を確実に次世代へ継承**
 - 適切な修理周期等による文化財の継承の推進 238億円（5億円増）
 - 文化財を支える伝統の技伝承基盤強化プラン 6億円（1億円増）



ジャパンパラ陸上競技大会
(出典：エクスワン)



子供の文化芸術体験の様子

2019年度 文部科学関係予算（案）のポイント



文部科学省

科学技術予算（案）のポイント 9,861億円（235億円増）

※エネルギー対策特別会計への繰入額1,087億円（6億円増）を含む
 ※「臨時・特別の措置」として110億円を計上【2018年度第2次補正予算額案：1,501億円】

Society 5.0を実現し未来を切り拓くイノベーション創出とそれを支える基盤の強化

◆ Society 5.0時代の核となる、革新的な人工知能・ビッグデータ・IoT、ナノテク・材料、光・量子技術など、未来社会の実現に向けた先端研究を強化

- AIP:人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト 85億円（△0.3億円）
- 革新的材料開発力強化プログラム（M-cube） 47億円（28億円増）
- 材料の社会実装に向けたプロトタイプ構築事業 3億円（新規）
- 光・量子飛躍フロッグシッププログラム（Q-LEAP） 22億円（前年同）

◆ Society 5.0を支える世界最高水準の大型研究施設の整備・活用を図る。特に、**ポスト「京」、次世代放射光施設**を本格的に推進

- ポスト「京」の開発 99億円（43億円増）
 【2018年度第2次補正予算額案：209億円】
- 官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設の推進 13億円（11億円増）

◆ 共創の場の構築による**オープンイノベーションの推進**と**地域イノベーションの促進**を図るとともに、**ハイリスク・ハイインパクトな研究開発**を推進

- オープンイノベーション促進システムの整備（大学） 25億円（7億円増）
 - 地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 36億円（5億円増）
 - ハイリスク・ハイインパクトな研究開発の推進 81億円（26億円増）
 - ・未来社会創造事業 65億円（10億円増）
 - ・ムーンショット型研究開発制度の創設 16億円（新規）
- 【2018年度第2次補正予算額案：800億円】

我が国の抜本的な研究力向上と優秀な人材の育成

◆ 研究力向上加速プランとして、研究生産性の高い事業等について**若手研究者を中心としたリソースの重点投下**や、**新興・融合領域の開拓**、**若手研究者が海外で研さんを積み挑戦**するための支援等を実施

- 科学研究費助成事業（科研費） 2,372億円（86億円増）
 【2018年度第2次補正予算額案：50億円】
- 戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出） 424億円（△10億円）
- 海外特別研究員事業 23億円（2億円増）
- 国際競争力強化研究員事業 1億円（新規）

◆ 科学技術イノベーション人材の育成・確保等を推進

- 卓越研究員事業 18億円（0.9億円増）
- 世界で活躍できる研究者戦略育成事業 2.4億円（新規）
- 科学技術イノベーションを担う女性の活躍促進 20億円（0.2億円増）

国家的・社会的重要な課題の解決に貢献する研究開発の推進

◆ iPS細胞等による世界最先端医療の実現などの**健康・医療分野**の研究開発を推進

- 再生医療実現拠点ネットワークプログラム 91億円（0.7億円増）
- 脳科学研究戦略推進プログラム等 67億円（7億円増）
- 先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 13億円（新規）

◆ **防災・減災分野**の研究開発を推進。特に、**南海トラフにおける新たな地震・津波観測網**の構築を推進

- 南海トラフの新たな地震・津波観測網の構築 16億円（新規）
 【2018年度第2次補正予算額案：16億円】
- 基礎的・基盤的な防災科学技術の研究開発 92億円（20億円増）
 【2018年度第2次補正予算額案：4億円】

◆ **グリーンで経済的なエネルギーシステムの実現**に向けた研究開発を推進

- 省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発 16億円（1億円増）
- ITER（国際熱核融合実験炉）計画等の実施 218億円（△1億円）
 【2018年度第2次補正予算額案：4億円】

国家戦略上重要な技術の研究開発の実施

◆ H3ロケット・宇宙科学等の**宇宙・航空分野**の研究開発を推進 1,560億円（15億円増）

- H3ロケットや次世代人工衛星の開発 295億円（23億円増）
- 宇宙科学等のフロンティアの開拓 473億円（51億円増）
- 次世代航空科学技術の研究開発 37億円（4億円増）

◆ **海洋・極域分野**の研究開発を推進 378億円（4億円増）

- 地球環境の状況把握と変動予測のための研究開発 31億円（5億円増）
- 北極域研究の戦略的推進 12億円（0.5億円増）
- 南極地域観測事業 48億円（△3億円）

◆ **原子力分野**の研究開発・安全確保対策等を推進 1,477億円（△1億円）

- 原子力の基礎基盤研究とそれを支える人材育成 48億円（前年同）
- 「東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等研究開発の加速プラン」の実現 45億円（0.3億円増）
- 高速増殖炉「もんじゅ」の廃止措置に係る取組 179億円（前年同）



これら科学技術イノベーションの推進により、国連持続可能な開発目標の達成にも貢献（STI for SDGs）

2019年度 文部科学関係予算（案）のポイント



文部科学省

【参考】防災・減災、国土強靱化のための緊急対策予算のポイント

2,084億円

◆ 耐震化や非構造部材の耐震対策など、**学校施設等の整備**を実施

- 公立学校施設整備 1,974億円
- 国立大学等施設等整備
- 私立学校施設整備
- 認定こども園施設整備

◆ **研究開発法人施設の防災基盤強化**を実施 94億円

◆ 南海トラフにおける**新たな地震・津波観測網**を構築 16億円

※上記事業は「臨時・特別の措置」として計上されたものであり、文部科学関係予算(案)の内数

【参考】復興特区（文科省関係）のポイント

286億円

◆ **学校施設や公立社会教育施設、国指定文化財等を着実に復旧**

- 公立学校 26億円
- 私立学校 2億円
- 公立社会教育施設等 61億円
- 国指定等文化財 3億円

◆ 被災学生の**授業料減免等**や、被災児童生徒への**就学支援**等を実施

- 被災私立大学等復興特別補助 7億円
- 被災地スクールバス等購入経費 0.3億円
- 被災児童生徒就学支援等事業 44億円

◆ **スクールカウンセラー等の活用、学習支援のための教職員加配など、被災地の児童生徒等の心のケアや教育支援**を実施

- 緊急スクールカウンセラー等活用事業 24億円
- 被災児童生徒に対する学習支援等のための教職員加配 18億円

◆ 復興を支える人材の育成など**地域における暮らしの再生**を促進

- 被災ミュージアム再興事業 2億円
- 福島県双葉郡中高一貫校設置事業 2億円
- 福島県教育復興推進事業 0.8億円
- 福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 3億円
- 大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業 4億円
- 放射線副読本の普及 0.6億円

◆ **大学・研究所等を活用した地域の再生**

- 東北マリンサイエンス拠点形成事業 6億円
- 東北メディカル・メガバンク計画 16億円

◆ **放射性物質で汚染された環境の回復に向けた研究**を推進するとともに、**原子力損害賠償**を迅速・公平かつ適切に実施

- 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故からの環境回復に関する研究 25億円
- 原子力損害賠償の円滑化 38億円



ポスターセッションの様子



社会人向け講座の様子



岩手県における「ふるさと科」の授業の様子